



門田 裕一 議員

リース方式によるLED照明の導入を

問

①民間資金を活用したリース方式で公共施設へのLED照明導入を進め

ては。
②市内の防犯灯をリース計画によるLED照明に替えては。

答 総務部長

①現在、双海地域事務所1階に導入し、改築中の港南中の屋内運動場、下灘小・伊予小の校舎に導入を計画している。

今後とも改築に合わせて順次導入を予定しているが、現状ではリース方式ではない。

リース方式は、費用負担の平準化を図る点では優れているが、一括導入のほうが総額で安くなることも考えられる。

また、今後急速な技術革新により性能の向上や価格の低下も考えられるため、リース方式にする

と、このようなメリットを受けられないということも想定される。
今後のLED導入に関しては、費用負担・技術革新・節電効果・民間資金の活用方法等総合的に判断し、十分情報を入力しながら検討したい。

②市内の防犯灯は、ほとんどを広報区で設置・管理している。
電気代等維持管理の負担軽減につながるLED防犯灯の推進は、設置管理者である広報区長の意見も伺いながら、リースによる切り替えやLED化への補助など、制度面及び設置化に対する費用対効果など多面的に調査

研究していきたい。

子ども子育て関連3法

問

①地方版子ども子育て会議の設置を。

②平成25年度予算で事業計画策定の経費計上を。

③本市における実施体制及び利用者支援は。

答

中村市長

①国の示した計画によると、平成25年から26年半ばまでの1年半の間に、新制度に対する理解の共有や教育、保育、子育て支援の需要計画と供給計画までの一連の作業を完成させる必要がある。

設置時期としては、今後の国・県の動向を見ながら条例を制定し、平成25年度中に設置したい。

②今後、国からニーズ調査等の基本指針とひな形が示される予定であり、具体的な指示に従い補正予算の計上を考えている。

③多くの施行準備事務を実施する必要が見込まれるので、関係部局と連携を密にして対応したい。

また、利用者への支援では、子どもの健やかな成長のため、適切な環境が等しく確保されるように、子どもと保護者に対して積極的に支援をしていきたい。

救急情報ネックレスの配布を

問

高齢者が倒れた場合に迅速な救急活動につながるための救急情報ネックレスの配布を。

答

市民福祉部長

このネックレスは、自宅はもとより外出先でも使え、ネックレスに印字されているのは数字だけで、個人情報漏えいにつながるような利点がある。反面、利用者の情報をあらかじめ救急本

部に登録する必要があり、変更が生じた場合には速やかに届け出る必要があること、常にネックレスを着用する煩わしさがあること、居住地域外では情報確認が困難であることが問題である。
有効な手段と考えるが、全国でも導入自治体はわずかであり、近隣他市町の状況も踏まえながら、検討したい。



救急情報ネックレス (鈴鹿市)

その他の質問事項

・骨髄ドナー助成制度の創設を